

第69回
**秋季東北
 高校野球**
 第2日

第69回秋季東北地区高校野球大会は第2日の15日、山形県中山町の山形県野球場、天童市スポーツセンター野球場の2会場で2回戦6試合を行い、八学光星は8強入り、青森山田と弘前東は敗退した。本県第2代表の八学光星は、主戦向井が相手打線を4安打に抑え、13奪三振で不來方(岩手第2代表)に完封勝ちし

た。第1代表の青森山田は序盤から酒田南(山形第2代表)に先行され、黒星を喫した。第3代表の弘前東は、3安打にとどまり横手(秋田第1代表)に敗れた。大会第3日の16日は2会場で準々決勝4試合を行い、八学光星は仙台育英(宮城第1代表)と対戦する。(山口拓郎、本田海輝)

**8強入り
 リード守り接戦制す**

光星向井 13K完封

制球安定 相手を手玉



【不來方(岩手)―八学光星】被安打4、無四死球、毎回の13奪三振で完封した八学光星の主戦・向井―天童市スポーツセンター野球場

▽2回戦(天童市スポーツセンター野球場) 不來方(岩手) 00000000 0000 八学光星 1100000000x2 (不) 小比類巻 菊池康 (八) 向井 齋藤

▽2塁打 菅原(不吉田)(八) 満塁とし、花房の左犠飛で先制。二回は四球で出塁した吉田を二塁へ送り、馬場の左前打で追加点を挙げた。三回は降は膠着(二つ三回の連打と四球で1死

三回の連打と四球で1死三回は降は膠着(二つ三回の連打と四球で1死三回は降は膠着(二つ三回の連打と四球で1死

三回は降は膠着(二つ三回の連打と四球で1死三回は降は膠着(二つ三回の連打と四球で1死

三回は降は膠着(二つ三回の連打と四球で1死三回は降は膠着(二つ三回の連打と四球で1死

コースにスバリと決まる直球、低めを突く変化球。制球に不安を抱えていた八学光星の主戦・向井―三沢(二中)は115球を投げ抜き、自身初となる無四死球の完封。三振は13を数え、今までは監督の期待を裏切ってしまった。この大会こそは期待に応えられるようにしたい」と、エントが安定した。ストライクを先行させ

四死球でリズムを崩し、自滅するパターンが多かった向井。県大会の後、仲井監督から投球時の歩幅を狭くするよう助言された。ストライクを先行させ

せ、ボール球で打ち取るなど投球の幅を広げ「細かいところを修正でき、結果につながった」と納得の表情だった。仙台育英戦に向け「自分で先頭打者を抑え、最終回は総仕上げと言わんばかりに速球を投げ込み、自己最速タイの141km/hを記録。全球140km/h超え

の直球で締め、控えめな指揮官も「無四死球を大きく評価したい」と納得の表情だった。仙台育英戦に向け「自分で先頭打者を抑え、最終回は総仕上げと言わんばかりに速球を投げ込み、自己最速タイの141km/hを記録。全球140km/h超え

の直球で締め、控えめな指揮官も「無四死球を大きく評価したい」と納得の表情だった。仙台育英戦に向け「自分で先頭打者を抑え、最終回は総仕上げと言わんばかりに速球を投げ込み、自己最速タイの141km/hを記録。全球140km/h超え